

令和5年度 生徒会活動報告・抱負



第七五代生徒会会長
電子科三年 山口 陽太



生徒会副会長
機械科三年 前嶋 郁哉



生徒会体育局長
土木科三年 富澤 雄一郎



生徒会学芸局長
電気科二年 東 哲士

この一年間、たくさんの方々の無事成功させられたのは生徒会の仲間と先生方の力があってこそだと感じます。本当にありがとうございました。私自身も活動の中でたくさんの方々の支えのおかげで思い出させてくださいました。来年は今年を超える素晴らしい生徒会、学校づくりを心より期待しています。

この一年間、生徒会副会長として仕事をできたのは、生徒の皆様、先生方の支えがあってこそだと思います。今年は新型コロナウイルスの影響がなく甲府工業の本来の形の行事を行うことができた年になったと思います。一年間支えてくださった皆様にとっても残る行事を運営する事が出来たことを幸せに思います。このように今年を経験させていただきありがとうございました。私達生徒会への協力ありがとうございました。

この一年間、多くの方々を支えられながら生徒会体育局長として沢山の貴重な経験をすることができました。球技大会を始め総号体育大会やご五葉祭の一般公開などの沢山の行事に携わることができました。これも全校生徒の協力があったからだと感謝しています。一年間生徒会へのご協力ありがとうございました。

生徒会学芸局長として様々な企画運営をさせていただきました。学園祭ではコロナの影響も緩和され本来の姿に近づかせることができました。今年度は多くの来場者様も見られ、活気にあふれた一日間となりました。生徒に楽しんでいただくためにも本部一丸となって準備に取り組みしたいと思います。そして何より生徒からの支えのおかげで円滑に行事が行えました。一年間スムーズな運営にご協力いただきありがとうございました。



第七六代 生徒会四役の抱負

生徒会会長
電気科二年 東 哲士

今年度よりコロナの影響も緩和され、これまでの生活を送り始めています。そこで私たちは次の世代につながるような活動をしていきたいと考えています。今後の甲府工業が発展するにあたり土台となるような一年間になりたいと思います。今後ともご協力よろしくお願ひ申し上げます。

生徒会副会長
電子科二年 今牧 獅音

コロナウイルスの時の制限が緩和され生徒会活動や学校行事が活発になってきました。私は工業の伝統行事、生徒会活動がより円滑に進められるよう、会長含めた三役をサポートしていこうと思います。そして生徒たちが行事を盛り上げられる甲府工業が作れたらいいと思います。

生徒会体育局長
電気科二年 国分 悠人

私たち第七六代生徒会はコロナ前の行事を取り戻すべく、全力を尽くして頑張ります。体育局長としては、球技大会や体育祭などの行事を充実するよう企画を進めています。また、前年度惜しくも連覇することができなかった総号体育大会で優勝できるように部活動に力を入れていきます。

生徒会学芸局長
電気科一年 山田 庵璃

先輩方が引退し、第七六代生徒会の一員として活動していく中で、全校生徒の皆さんに楽しんでもらえる行事作りを目標に活動していきます。生徒会全体を支え、自分の公約を実現できるように頑張ります。そして今までも学芸局をさらに発展させ、より楽しい甲府工業を作っていきたいと思っています。

令和5年度 部活動・委員会 紹介



陸上駅伝部

望月 陽留

私たちは陸上駅伝部は、短距離と長距離に分かれて練習しており、短距離は総体や新人戦で男子総合順位ベスト4以上、女子総合順位ベスト16以上を目標に掲げ、個人やリレーでの上位入賞を目指しています。長距離は総体や新人戦だけでなく駅伝での関東大会出場を目標とし、部員全員が自己ベスト更新に向けて日々練習に励んでいます。その成果として、2023年度総体男子総合4位、新人戦男子総合5位、県高校駅伝7位という成績を残し、関東大会に出場した部員も大勢いました。



普段は緑が丘陸上競技場での練習をメインに、平日は走り・体力づくりの練習を中心に、休日は小瀬や榎形の競技場に行って各自の種目練習というメニューで活動しています。その他にも

サッカー部

金丸 謙志郎

ジヨウショウウ常勝x上昇！ 私たちサッカー部は、11月に新チームとしてスタートしました。昨年、新人戦でベスト4という結果を残すことができましたが、新人戦以降の大会ではベスト8を超えることができませんでした。昨年私たちは1、2年生は公式戦の多くは2部リーグで戦いました。そこで試合ではなかなか勝利することができませんでしたが、来年は更なる1部リーグで戦う事になります。1部で戦い続けるためには、多くの試合で勝利していかなければなりません。そこで常勝！という常に結果を意識すること、また、各大会においてはベスト4以上の結果を残すこと、今年の結果を上回るようにという思いで「上昇」という、2つの意味を持つ「ジヨウショウウ」という目標を設定しました。当たり前のことを当たり前にできなければなりません。言い訳はせず、自分達の行動に責任を持ち、様々なことに全力で取り組みたいと思います。また、私たちを支えてくださる方々へ感謝の気持ちを持たず戦っていきたくと思います。

ウエイトトレーニングやグラウンドでの練習もあるのがかなり充実した環境で練習が出来ています。3年生が引退して戦力が下がった今、5月の総体に向けて、より練習の力を入れています。



空手部

江原 龍聖

私たちは空手部は、試合で結果を残すことだけではなく、日常生活や礼儀など空手以外のことに力を入れて練習しています。今年度の総合体育大会では、関東大会に出場することができ、とても良い経験が出来ました。来年度も出場できるように全力で取り組もうと思います。練習内容もコロナウィルスの影響を受けることなく行うことができ、以前よりパワーアップして練習方法を変えたり、新たに練習メニューを取り入れた

山岳部

横内 伸祐



私たちは山岳部は登山を中心に、アウトドア全般を行っています。登山だけでなくボルダリングやカヌー、スキーなども行っています。普段の練習ではランニングや筋力トレーニングだけでなく、山に関する知識を学ぶ座学も行っています。

今年の高校総体では体力審査、学科試験、天気図試験、幕営炊事審査を経て3位に入賞することができました。これは選手だけではなく部員全員の成果だと思っています。山岳部では一年を通して様々な山に登ることができ、富士山やアルプスに登ることがあります。装備も大変充実しており、初心者も大歓迎です。初めはみ

りして、強豪校に勝つような質の良い練習をしています。来年度の大会では最後の悔いの残らないように高い意識を持って部活動に励んでいきたいと思っています。それに、部員が減ってきているので、部活外でも空手の魅力を伝えられるように頑張ります。また、いつも練習を見てくださる先生方や、私たちに応援してくれる保護者にも、感謝の気持ち忘れず日々精進していきたいと思っています。応援をよろしくお願いします。



弓道部

川久保 翔馬

私たちは弓道部は、9月から新チームとなり2年生10名、1年生10名で活動しています。上位大会で入賞することを目標に日々の練習に励んでいます。今年度は全国大会に出場するなどの結果を残しました。しかし、3年生が引退し部内の環境が大きく変わる中、なかなか結果が



自転車競技部

大橋 敦也

私たちは自転車競技部は、部の伝統を守り、チームを牽引してくれた先輩方が引退され、10月より、2年生3名、1年生4名の新体制で活動を開始しました。今年度1年間私たちのリーダーとして部を牽引してくださった部長をはじめとする3年生の先輩方は、関東大会、全国大会で上位の成績を取られ、名を残していただきました。その結果、関東大会総合優勝という素晴らしい

残すことができず、強豪校というイメージが少しずつ崩れかけています。その原因として挙げられる一番の理由は、精神面がどうしても弱いからだと思います。公式大会などの緊迫した場で最初の1本が不利な流れが起きることがよくあります。しかし、大会となると緊張してしまい、思うようにできません。しかし、大会と緊張感を持って練習し、今までのことを全力でやり切り、後悔しないように日々の練習に励んでいきたいと思っています。



剣道部

足達 梓馬

私たちは剣道部は、3年生が引退し、現在2年生4名、1

年生が4名の計8名で活動しています。練習では、顧問の先生やOBの先輩から正しい打ち方や攻め方などを教わりながら、基礎的な稽古から実践的な稽古まで行っています。月に数回行う練習試合では、他校の剣道部と練習合うことで、自身自身の成長を実感できることができます。10月に行われた新人戦では、新体制として挑みましたが、この大会を機に新たな課題が生れました。しかし上との差は大きく、下とは僅差ということを痛感しました。1月に行われる全国選抜予選までは残りわずかですが、時間を有効に活用することで個々の力を底上げし、勝利を確実なものにしていきたいと思っています。また、関東大会や昨年惜しくも逃してしまったインターハイ出場を目指し、部員一同全力で戦っています。そして応援して下さっている方々に恩返しができるように頑張りたいです。



ることの大変さを改めて感じました。特に、自分自身がトレーニングをしながらチームに指示を出すことがとても大変でした。年末には、木更津総合高校へ遠征に行き、全国から多くの高校が集まり練習試合を行いました。その中で各々の課題や良い部分を見つけ、普段では味わえない刺激を受けることが出来ました。

今、私達は1月にある全国選手権予選に向けて日々稽古に励んでいます。一番の目標であるインターハイに出場するために、この予選で良い結果を残すように頑張ります。また、相撲でも結果が残せるように、日々の練習を疎かにせず努力していきます。温かい声援をよろしくお願いします。

柔道部

渡邊 元寛



新体制となって初めての大会である新人戦では、チーム内でインフルエナジーが蔓延してしまい、欠場となって半面ほどになり、キャプテンとしてチームをまとめ



テニス部

上野 優月



私たちテニス部は、関東大会出場を目標に日々の練習に励んでいます。五月に行われた総合体育大会では、団体戦三位という悔しい結果で終わりましたが、来年の目標が引退となりたくさんの不安が募り、自分たちの技術の低さや精神力の弱さを部員全員が思い知らされました。しかし、自分たちの弱さを知ることで課題点を明確にすることができ、そこからたくさん練習や遠征などで各自の課題点を改善していくように取り組みました。そうして迎えた新人戦では惜しくも三位という結果で終わりましたが、経験にすることができ、新しい経験にすることができました。現在は、来年度の総合体育大会に向けて、更にレベルを上げるよう意識し、冬にあるジュニアの大会で終わるよう練習に取り組んでいます。新人戦の

悔しさを総合体育大会でぶつけ、関東大会でも勝ち上がれるようなチームを作っていきます。

新体操部

岩間 巧真



私たち男子新体操部は、三年生の計六名で活動しています。私が一年生の頃には大会の経験が少なく、一つ一つの大会で思うように演技ができませんでした。しかし、二年生からは多くの大会に出場し、沢山の経験や学びを得ました。その結果、目標であったインターハイに出場することが出来ました。新チームとなつてからはメンバー同士で目標を明確にしました。上手な選手の動画などを参考にしながらの練習を行っていかの考え、一回一回の練習を意味のある物にしています。新年度になり気持ちも

切り替わり、次の試合に向けて各々の弱点を克服するようなメニューを考へ、メンバー同士で切磋琢磨しながら練習に励んでいきたいです。また、先輩がそうであったように、先生方や関係者への感謝の気持ちを忘れず、チームを引っ張って行くような存在になれるように頑張りたいです。

卓球部

朝鳥 優寧

卓球部は1年生5人、2年生5人の計10人で活動しています。毎年、インターハイ県予選優勝、インターハイベスト16という目標達成を目指し日々の練習に励んでいます。

今年度は新型コロナウィルス政策が緩和され、合宿、遠征などを行い、技術だけでなく精神面、体面でも向上してきました。卓球部は練習量が多きついてもありますが、充実した練習を行うことで技術が上がり結果を残してきました。

今年度は県総体団体2位、インターハイ予選団体2位、シングルス2位、ダブルス1位、3位、全日本予選ジュニア4位、県新人戦ダブルス2位、3位、東京選手権予選ジュニア3位という結果でした。

バレーボール部

村松 遼宙

生十四人、一年生一人の計十五名の少ない人数で関東大会上位入賞を目指し、日々の練習に取り組んでいます。総体や、新人戦では、私学の対戦に苦戦しながらも結果を残すことができ、一方で、新たな課題も見つかり、さらなる技術の求め、チーム一丸となり取り組んでいます。新型コロナウィルスの影響で思うように活動ができなかった昨年と比べ、練習試合や遠征などができるようになった経験などができようになりました。が、実戦に勝てずチームになれずと悩んでいます。個人戦も団体戦も、目の前の一戦を一つずつ勝ち抜くことも大事ですが、雰囲気の良いチーム作りもほかの学校に負けないようにしていきたいです。これからバドミントンができる時間を大切に、支えてもらっている方々に恩返しができるように、目標に向けて取り組んでいきたいです。



橋本 悠希

私たちバドミントン部は、夏に三年生十二人が引退し、二年

バドミントン部



上がるのが出来、自分たちの可能性を実感することが出来ました。今年の目標も昨年同様「ベスト8」にし、どんな状況であつても基本的な技術や戦術を磨き、一つ一つの練習に手を抜かず行っていました。厳しい練習の日々で辛く感じることもありましたが、目標を達成するうえで大事な事だと思つてチーム一丸となり、声掛けなどを乗り越えていきました。最後に、私たちが部活動ができるのは当たり前のことではありませんが、そこに顧問や多くの保護者の方の支えがあるからこそだと思つて、感謝の気持ちを忘れず応援されるチームを目指し、全員で「ベスト8」を取りに行きたいと思えます。



ソフトテニス部

西村 華唯

私達ソフトテニス部は、関東大会出場として目標を掲げつつ、学生の本業である勉強を怠らず文武両道を意識しています。テスト期間を意図的に声掛けなどを行っています。他の高校とは違い、教えてもらえる顧問がいない為、お互いを教えあつていきます。しかし知識がないと教えることも出来ず自分の実力を伸ばせないで各々で試合の動画を見て知識をつけています。試合形式の練習では、自分の実力が伸びているのか、通

多くの練習をして得られた成果は何とも言えません。これからも常に向上心を忘れず、みんなの目標が一つになって、同じ方向を向き練習仲間と一緒に、インターハイ予選団体優勝に向けて進んでいきたいと思えます。

ハンドボール部

花田 大武

私たちハンドボール部は、部員25人で半数以上が初心者ですが、チーム一丸となって日々活動しています。主に練習は、生徒たちが中心で話し合い練習メニューを決め、ひとりひとりが個々で目標を持って取り組んでいます。基本的に練習は、外または緑ヶ丘体育館で行っており、外は基礎的な練習を行っています。ハンドボールはマイナーなスポーツのため、知っている人が少ないのも、もっと多くの人が知ってもらいたいです。今現在、私たちハンドボール部は新人戦、選抜大会両方も4位という悔しい結果



用するのかが、考え方はあつているのかなど日々の練習で身につけたことを試合でいかせるようにしています。そのため相手の癖や打ち方、得意なコースなどを観察しそれに対応するためにどうするか自分で考えることによつて試合で苦しい場面も乗り越えられるようにしています。競技人口が少ないため大人になつても続ける人は極わずかなので高校の活動が最後になります。だからこそ毎日1分1秒大切に、常に実力を伸ばすことを意識してこれからも頑張っていきます。



バスケットボール部

角田 汰樹

私たちバスケットボール部は、2年生6名、1年生9名で日々の練習に取り組んでいます。昨年は大会で初戦敗退という立場から目標であった「ベスト8」まで勝

で終え、良い順位を残せていません。そのため、総体では県大会を2位以内に入り、関東大会出場を目指して、これからの練習を日々励んでいます。チーム一丸となつて頑張ります。甲府工業の方々にもしっかりとハンドボールを知ってもらい、応援してもらえようなチームを目指していきたいです。

ボクシング部

佐野 蓮慈

私たちボクシング部は、現在部員7名と顧問2名の計9名で活動しています。三年生が引退し、2年生が主体として練習を頑張っています。日々の練習や試合前の減量など心身ともに苦しいと思つてあります。しかし、その苦しさは打ち勝つことでボクシングの強さと、人としての強さを身に付けることができると思っています。今年度の総体や新人戦ではよい成績を残すことができましたが、今後開催される関東大会や全国大会に通用するとは思いません。だからこそ日々の練習や試合などで先生方の話を聞き、試合の動画を見返して自分に何が足りないのかなどしっかり勉強し、練習に生かしていくことが大切になってきます。ボクシングは個人競技ですが、周囲の方たちの

支えは必要です。だからこそ私たちは、応援してくださる人たちのために感謝の気持ちを忘れず練習や試合などで自分を強くするために日々精進していきたいと思っています。



ラグビー部

村松 聖斗

私たちラグビー部は現在二年生八名、一年生五名、マネージャー二人の計十五人で活動しています。秋に行われた花園予選の一回戦では日大明誠を相手に少し点差の離れた悔しい結果に終わりました。今度ラグビー部を引っ張って三年生が引退し、三年生の偉大さを改めて思い知らされました。部員数は試合に出るための十五人にはまだ足りていませんが、山梨県優勝を目標とし、日々の練習に取り組んでいます。私たちラグビー部には「ピラミッド」があります。学校生活を支えてくれる人への感謝を当たり前とすることをしっかりと

る。これを古くし、その土台を固めなければ、ラグビースキル勝利などの二節目、三節目は崩れてしまいます。土台をしっかりとし、周りの人の期待を裏切らず、様々な人から応援される部を目指し、これからは一人一人が努力をしていき、目標に目指して頑張っていきたいです。



野球部

滝本 真大

我ら野球部は、昨年の春季県大会、選抜全国制覇の山梨学院高校を破り優勝し、関東大会へ出場することができました。県大会春夏連覇をかけた臨んだ選手権大会、準決勝東海大甲府高校に乱打戦の末敗れ、悔し涙しました。

夏休みに新チームがスタートし、秋季県大会優勝、関東大会を勝ち抜き、選抜への切符を勝ち取るために、日々激しい練習に励んできました。迎えた県大会では、日本航空高校と対戦、自分たちのやってきたことが何も出せずに2

回戦敗退という悔しい結果となりました。

「甲子園で校歌を歌う」これが野球部の最終目標です。並大抵の努力ではこの目標を成しえることはできないと思います。全部員が甲子園へ行くという強い想いを具体的な行動に移し、毎日の練習を悔いの残らないよう取り組むことが大切だと思っています。

私たちを応援してくれている方々への感謝を胸に、来夏は必ず甲子園で校歌を歌います。



ギター部

山下 倫太郎

私たちギター部は、楽しくギターに触れるをローガンに掲げ、音楽室にて日々練習に励んでいます。ギター部では、上下関係のような年齢の壁が無く、上級生と関わりあっているた

嬉しい気持ちになりました。そしてその瞬間が私にとっての思い出にもなりました。写真部は普段と違う一面の友達を見るのが好きです。楽しさも喜びもある部活です。皆さんも思い出を形にするお手伝いをしてみませんか。

茶道部

土屋 陽花

今年度の茶道部は三年生四人、二年生一人、一年生二人の計七人で活動してきました。

週二回、お茶を点て、お茶とお菓子を嗜んでいます。作法については、水曜日講師の先生が丁寧に教えてくださり、木曜日に先生から学んだことを復習しています。お稽古を通して茶道の所作だけでなく、季節の和菓子のこと、「超絶技巧」の作品の話や地域による言葉の解釈の違いなど、普段なかなか触れることのない知識も深めることができました。初心者から気軽に始められ、和やかな雰囲気です。



あり、学園祭や芸術文化祭でお茶会ができませんでした。しかし、今年度は制限が緩和され、点茶盤を用いた立礼のお稽古ができました。そして、学園祭や芸術文化祭でお茶会が実施でき、お点前を披露することもできました。

来年度は盆路点前だけでなく、風炉点前や立礼のお点前を丁寧にスムーズにできるよう、日々のお稽古を頑張っています。

吹奏楽部

岩城 颯志

今年度の吹奏楽部は、顧問の植松先生、大木先生、小森先生のご指導のもと、3年生6名、2年生9名、1年生6名で活動してきました。11月4日に開催しました定期演奏会を機に3年生が引退し、現在は1年生、2年生で活動しています。

私たちは、今年度の山梨県吹奏楽コンクールで金賞を獲得することができました。悔しくも西関東大会に出場する権利を得ることは出来ませんが、皆が一つの目標に向かい、それぞれの役割を果たすことが出来ました。来年度こそ西関東大会に出場することが出来ることを目標に、日々の練習に取り組むたいと思います。私たちが日々

め、部員同士、互いの交流が深く、とても仲がいいです。とくに、初心者に触れたことのない初心者も、優しく教えることにより、挫折しにくく続けやすい、何よりギターを弾くことが楽しいと思える部としての体制が整っています。



しく腕を磨き、数少ないながらも大切な演奏の機会を最高のものにしていきたいと思っています。

写真部

廣島 啓人

貴方の携帯のカメラロールには何枚の写真がありますか。その1枚1枚がそれぞれの意味があり思いがあってと思います。嬉しい思い出、悲しい思い出も消してしまいたい思い出、他沢山私自身もあります。でも、その沢山ある写真の中でこの写真を見るとき幸せになるのか、この時に戻りたいのかなど、この時に戻りたいのかを思う写真を提供することが出来るのが写真部です。

私は3年間「思い出を形に」をテーマに活動をしてきました。狙いをすまして一番笑顔の瞬間を撮ったり、青春すぎる撮っている自分が羨ましくなる写真も撮ったりすることもありました。でもその写真を渡した時、「すこ」「最高」「ありがと」と言われた時に私は、「写真部で活動をしていた良かったな、思い出を形にできたな」と



の練習で心掛けていることは協調性です。高校から楽器を手に取った部員もいないなかで、もちろん個人の技術を磨くことが大前提ですが、それよりも皆で一丸となり目標が達成できるように取り組むことを大切にしています。コロナウイルスが落ち着き、イベントや施設など様々な場所へ訪問演奏が出来るようになります。多くの人の支えに感謝しながら、甲府工業高校吹奏楽部の日々の活動の結果が広く知っていただけたら嬉しいです。



情報システム部

宮田 凜

私たち情報システム部は、電子科の1年生から3年生の21名で活動しています。5月に開催される県総体の得点速報や「WRO」と呼ばれる国際的なロボッ

トコンテストへの全国大会、世界大会への出場を目指しロボットの調整を行うことなどが主な活動内容となっています。

今年度のWRO関東大会は、甲府工業から6チーム出場しました。結果としては、全国大会への出場は叶わず悔しい結果となりました。しかし、2年生の1チームが電気学会特別賞を受賞しました。

チームメンバーで「からアイデアを出しながら、機体やプログラムの作成・調整をする」とは本当に難しいもので、失敗の繰り返しの多い活動のイメージです。来年度は、全国大会入賞以上の結果を残すことが出来るよう頑張っていきたいと思っています。



美術部

坂本 瀧那

こんにちは、美術部です！



最後に、美術部では「絵が下手だから向いていない」「センスがない」など問わず、率直に「絵が好き」「仕事が好き」という人を募集しています。気になる人は、一度美術室を覗きにきてみてはいかがでしょうか？

保健委員会

渡邊 曲花

「二年を振り返って」

一年の中で保健委員会の主な活動は、まだまだ続く感染症を防ぐための消毒や検温、また毎学年初めに行われる身体測定等の補助活動などが挙げられます。どの活動も学校全体の病気を防に貢献することもでき、保健委員としても嬉しく思います。また、昨年の10月に行われた第71回山梨県高等学校保健研究大会では、当校としての発表はしませんでした。様々な高校の方の発表を聞き、保健委員会としてそのような活動もできるのかといったことに気づかされ、良い勉強となりました。この研究発表大会で学んだことを活かし、これからの保健委員会の活動を有意義なものにしていきたいと思っております。今年は、コロナが少しよつ落ち着き、昨年一昨年よりも感染症への危機感がほとんど低下してしまっていると感じます。このような時だからこそ、より一層消毒や検温などといった感染症対策を厚いものにし、生徒皆の健康を守っていききたいと思います。

選挙管理委員会

深澤 隼

私達選挙管理委員会は9月に行われる生徒会役員選挙や立会演説会に向けて年に数回の活動を行っている。活動の内容は委員長や副委員長、また各学年の代表者や副委員長、また各学年の投票所の準備、委員長になることと演説会のあいさつや投票後には当選者の発表もする。近年では「Innet」の導入により紙での投票ではなくスマートフォンでの投票ではなくスマートフォンによる投票環境が悪くスマートフォンから投票出来なかった生徒用に机を動かして既存の投票箱を置くだけであった。委員長のあいさつも先生方の助言通りに手直しをしていけば心配はいらない。正直な話、他の委員会よりも簡単なろう。しかし甲府工業の次なるリーダーを決めるにあたって無くてはならない委員会でもある。楽そうだからという人ではなく、責任感のある人を私達選挙管理委員会は歓迎している。

規律委員会

齊藤 健月

私達、規律委員会は各クラス

の委員長、副委員長などのクラス代表生徒で構成された委員会です。活動は、大きく分けて二つ取り組んでいます。まず一つは、学校生活の月間目標を決めることです。その月の季節や行事などに合わせて生徒が気を引き締めるように毎月の始めに集まって決めていきます。このような目標を立てることによって日々の生活を怠ることなく、常に安心した学校生活を送ることができると考えて取り組んでいます。そしてもう一つは、旗の掲揚と降納です。国旗、校旗、安全旗の3つの旗をどこから見ても綺麗で立派に見えるよう立てることを意識しております。今年は、一二年生に旗の掲揚などの説明を実施し、スムーズに活動を行うことが出来たと感じます。来年度も学校の規律を託されているからには活動を更に頑張ってもらいたいと思います。

交通安全委員会

保々 拓斗

私達交通安全委員会の今年の活動は、自転車を利用する際にヘルメットの着用の呼び掛け、甲府工業生の交通事故の数を減らすと活動をしてきました。令和5年4月1日から、自転車の乗車用ヘルメットの着用が

努力義務化されました。しかし、努力義務だからと思っていないのが、ヘルメットを学校の近くに着いたら着用するという全くもって意味のないことをしている人を大勢見かけます。ヘルメットを着用するのときしないのデータがあります。着用が面倒、見ただけを気にするよりの行動をするによって、一人一人が意識を持つことにより、数が減ると私は思います。ニュースなどで流れてくる交通事故などを見て、自分には関係がないと他人事のように思っているうちには、絶対に数は減らないと強く思っています。しっかりとみんなで意識をして、交通事故を減らしましょう。

家庭クラブ

野田 美麗

本校の家庭クラブは、普段の家庭科の授業で学習したことを活かして、学校内や地域の生活をより良いものにすることを目標として活動しています。家庭科の授業では、近くの朝日幼稚園に訪問し、体験学習をさせていただきました。昨年度までは、コロナの影響で自粛せざるを得なかったのですが、今年度から、再開することがで

きました。

十一月には、県研究発表大会が開催されました。本校は研究発表校として学校トイレを快適空間に！という題目で学校トイレを清潔に保つための研究を発表しました。トイレの掃除方法を掲示したり、手作りの消臭剤を設置したりしました。また、授業で訪問している朝日幼稚園の保護者の方々に手作りの消臭剤の作り方をまとめたパンフレットを配布するなどの普及活動もしました。来年度も今年の活動を活かし今後に繋げていきたいです。



令和5年度 体育局・文化局 成績表

